

## 1-2 1990年4月1日の根室東方沖の地震 (M6.0)

On the Earthquake (M6.0) off Nemuro, Hokkaido, April 1, 1990

北海道大学 理学部

Faculty of Science, Hokkaido University

1990年4月1日に根室東方沖でM6.0の地震が発生し、多数の余震が観測された。北海道の太平洋沿岸で顕著に余震を伴った地震は1989年1月23日の釧路沖の地震 (M5.8) 以来のことである。

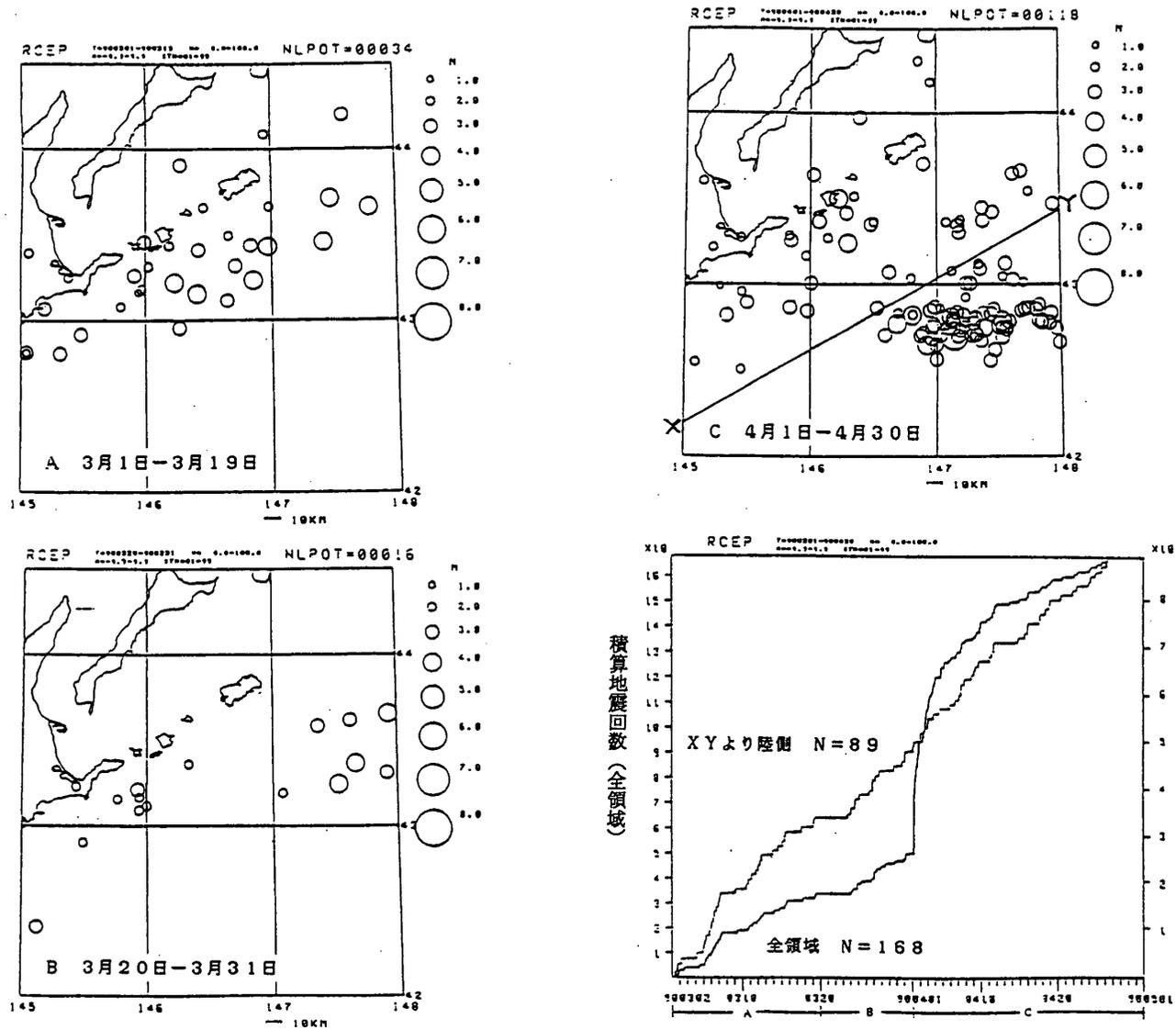
第1図にこの地震の前後の期間の震央分布を示す。この地震には前震は観測されていない。本震の前1か月間には震源域に相当する場所では地震は観測されていないが、周辺との関連で地震活動空白域と認識出来るものではなかった。また、震源域に隣接する陸側 (東経146° と147° の間) で本震の12日前から震央分布に変化が現われたが、事前に本震との関連を指摘することは出来なかった。積算地震回数をみると、本震の前に地震活動の低下があったようであるが、顕著なものではない。広域地震活動モニター図では地震活動は警戒レベル以下にはならなかった。活動低下率24%の湾型の変化が先行しているが、この程度の変化は別の期間にも何回かみられる (第2図)。以上要するに、この地震では前兆的な変化があった可能性は高いが、本震発生と結びつけるには至らなかったといえる。

この地震の震源域はその前に発生していた地震より海溝側にあることは確実である。この地震の発生は震源域 (第1図XY) より陸側の地震活動には何の影響も与えていない。

エトロフ島付近の地震活動が南西方向に移動する例が報告されている。今回の地震についても、4月10日に釧路沖でM5.6を主震とする顕著な群発地震が発生した (第3図)。しかし、先の例<sup>1)</sup>とは違って、その後短時間でさらに西方へ活動が移動することはなかった。(本谷義信)

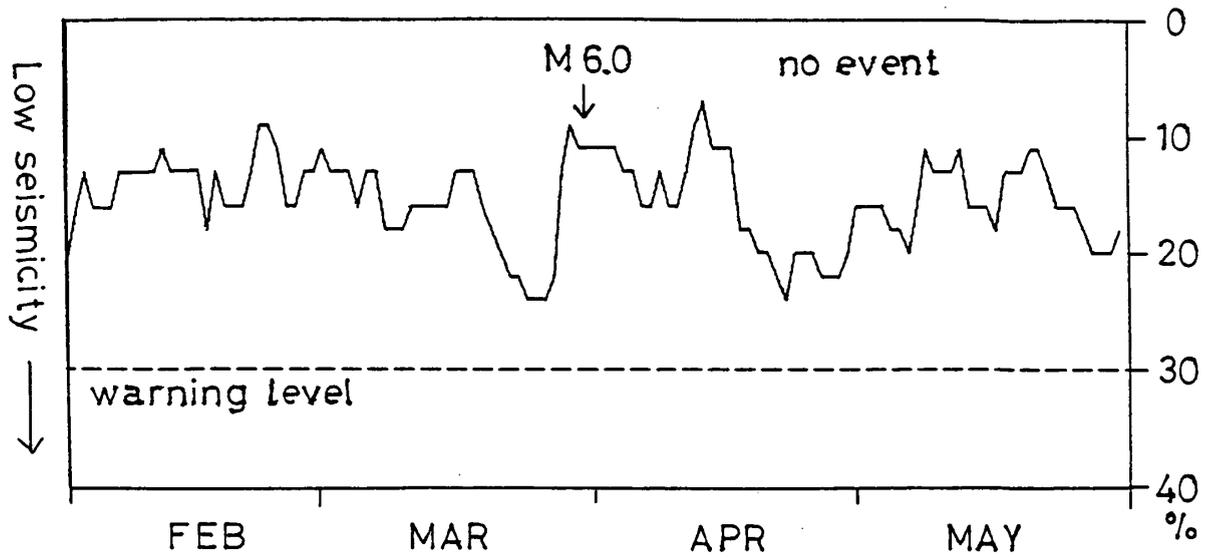
### 参 考 文 献

- 1) 北大理学部：北海道とその周辺の最近の地震活動 (1988年12月～1989年5月)、連絡会報, 42 (1989), 1-7.



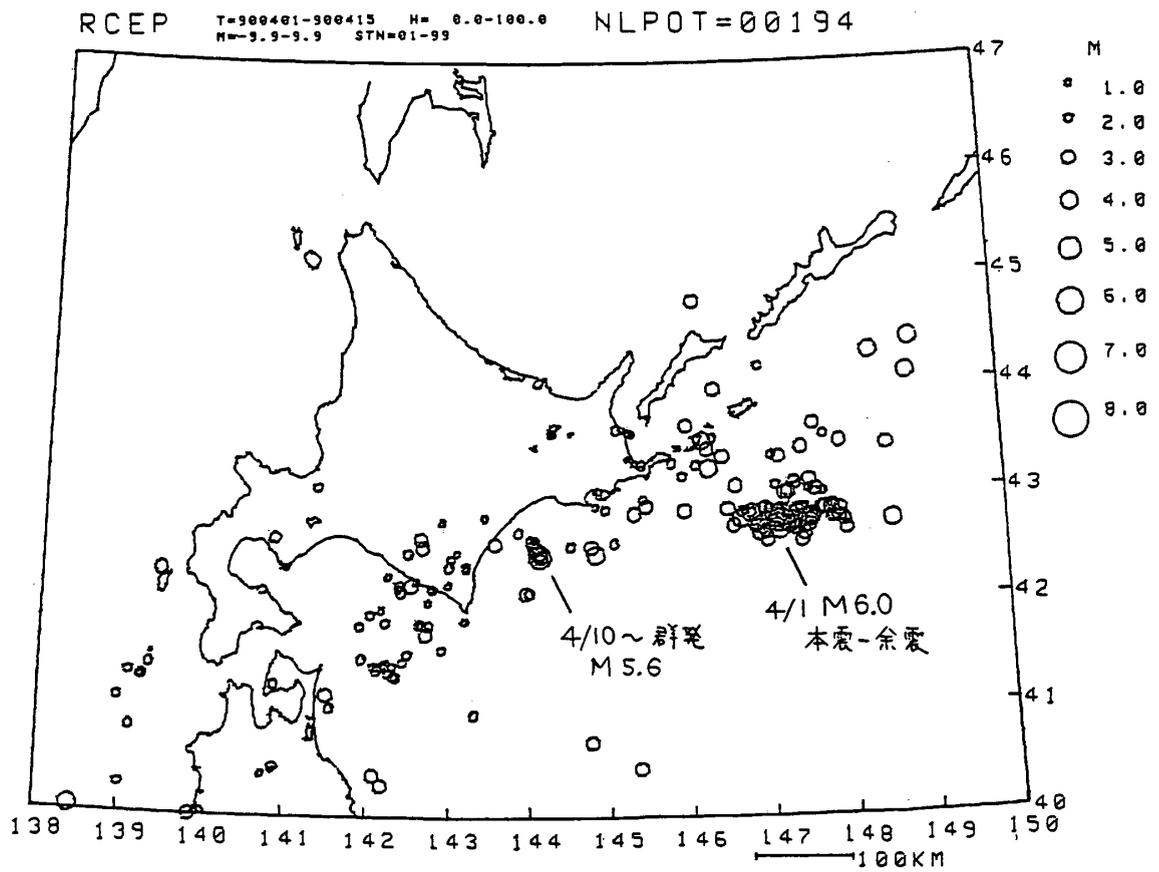
第1図 1990年4月1日根室東方沖地震 (M6.0) 前後の震央分布と地震回数積算図

Fig. 1 Epicenter distributions and curves of cumulative number of earthquakes.



第2図 広域地震活動モニター図

Fig. 2 Seismicity monitor diagram.



第3図 1990年4月1日から15日間の震央分布

Fig. 3 Epicenter distribution of earthquakes shallower than 100 km from April 1 to April 15, 1990.